

トランプ氏に翻弄される世界

「アメリカ・ファースト (米国第一)」を掲げ、2025年1月に大統領の座に
返り咲いたトランプ氏。世界は、彼が演説や交流サイト (SNS) の投稿によっ
て発する一語一語に翻弄されてきました。
この本でもさまざまな分野のページに登場し、存在感を見せつけています。



辞書の中で最も
美しい言葉は
tariff
関税だ

自称「タリフマン (関税男)」。敵対国から
友好国まで、あらゆる国に高率の関税を突
然通告し、相手に政策の変更を迫る交渉
の「武器」にしてきた。ただ、逆にアメリカ国
内の景気悪化を招く危険も。

→テーマ③、⑥、⑳

ドナルド・トランプ氏

Donald John Trump

第45、47代アメリカ大統領 (在任2017～21年、2025年1月～)。政治家や政府職員、軍人出身でない大統領はアメリカ史上初。1946年6月14日、ニューヨーク市生まれ。5人きょうだいの4番目。祖父は今のドイツからの移民。父から継いだ不動産業を拡大して「不動産王」と呼ばれ、テレビ番組の司会者 (2004～15年) として人気を博した。結婚3回で5人の子、11人の孫がいる。3人目の妻メラニアさんは今のスロベニア出身の元モデル。外国出身のファーストレディー (大統領夫人) は史上2人目。ハンバーガーやピザなどのファストフードが大好きで、大統領執務室にコーラ注文ボタンがあるという。

性別は男性と女性の二つだ

性的少数者の権利保護や人種平等を進めた前政権のDEI (多様性、公平性、包摂性) 政策を2期目の就任初日に撤回。
企業の採用活動やスポーツの国際大会などにも影響が広がっている。 →テーマ⑭、㉑

Make America
Great Again
アメリカを
再び偉大に

掘って
掘って
掘りまくれ

科学を無視し、地球温暖化は「世界最大の詐欺だ」と主張。国際枠組み「パリ協定」から離脱し、化石燃料の増産を指示した。

→テーマ⑧、⑲

ノーベル平和賞に値すると皆が言う

数々の国際組織から脱退するなど孤立主義外交の一方、地域紛争の和平仲介には積極的。トランプ氏の歓心を買おうと称賛し、ノーベル平和賞に推薦する国もあり、日本の高市早苗内閣総理大臣 (首相) もその一人だ。 →テーマ㉒

一方で



TACO (タコ)

トランプ氏の政策は二転三転すると皮肉な俗語「Trump Always Chickens Out (トランプはいつもビビってやめる)」の略語。政策変更は、トランプ氏が好む「ディール (deal、取引)」や現実主義的な判断の反映だと冷静に見る人も。

NO KINGS (ノー・キングス=王様はいらない)

自分の誕生日に大規模な軍事パレードを行い、政策への抗議活動に兵力を投入するトランプ氏。「アメリカに王様 (暴君) はいらない」と書かれたプラカードを掲げるデモが各地に広がる。 →テーマ㉓